

# 第1章 はじめに

## 第1章 はじめに

人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない状況の中、北栄町では農業をはじめとする産業振興や地域資源を最大限に活用した観光振興等により地域を活性化することが求められています。

本町の観光については、近年のインバウンド拡大の恩恵も受け、青山剛昌ふるさと館から米花商店街を通り由良駅（コナン駅）まで、多くの観光客で賑わいを見せています。

一方、農業・商工業については、国内外の競争激化に加え、若年層の町外流出による就業者の高齢化や後継者不足が進み、取り巻く環境は厳しさを増しています。

そのような中で、今春には鳥取西道路が全線開通し、鳥取、米子両市間が約15分短縮されたことにより、鳥取県を訪れる観光客のアクセスが向上しました。さらに、山陰道や国道313号北条ジャンクションの整備計画が進んでおり、広域的な道路ネットワークの形成により、人とモノの動きが大きく変化することが予想され、交通の結節点に位置する道の駅「北条公園」は、町の地域資源を活かした新たな賑わい創出の拠点としての役割が期待されます。この機会を逸することなく道の駅の再整備を行うことにより、町外からの呼び込みを図るのみならず、地域住民の交流の場として地域に賑わいを創出する拠点を目指していくものとします。

なお、従来から道の駅に求められる「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」に加え、昨今の課題であるインバウンドへの対応のための機能、頻発する災害に対応する「防災機能」を併せ持つ道の駅とするとともに、北栄町まちづくりビジョン及び北栄町まち・ひと・しごと総合戦略に示す内容を実現する道の駅を目指します。

